

KSKP

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニュースレター Vol.36

Threshold

~すれっしょんど~ (出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュヨルドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です

Drug Addiction Rehabilitation Center
DARC



今年もよろしくお願ひいたします



あけまして おめでとう ございます

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー
〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18 ←郵便物はこちらへ
TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

西宮ファミリーカウンセリングオフィス

〒663-8177 兵庫県西宮市甲子園七番町 9-18 H2O 甲子園 303 TEL 078-600-9525
共同生活援助(グループホーム) リカバリーホーム TEL078-647-7744 (神戸市須磨区)
リカバリーホーム 2&3 TEL078-764-6988 (神戸市垂水区)

SPEAK EASY(タコス&お弁当販売) 神戸市長田区久保町 3-6-9 1F TEL 078-584-3902

指定就労継続支援 B 型(10 月より)事業所 ぱっくやーど 神戸市長田区久保町 3-6-9

姫路アデクションサポートセンター 〒670-0832 兵庫県姫路市双葉町 96 Tel 079-255-5033
智頭リトリートヴィレッジ 〒689-1411 鳥取県八頭郡智頭町八河谷杉の木ランド テニスコート下

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

神戸ダルク5周年フォーラムを終えて—一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

みなさま、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。仲間たちが無事に歳を越すことができたことに感謝いたします。また、誕生日や記念日、年越しなどは私たちにとって節目であると同時に、こういう時ほど寂しくなって薬物が恋しくなる刻でもあります。こんな気持ちは当時は一生消えないと信じていましたが、自分の内面が変化するにつれて、そんな気持ちも変わっていきます。信じられなかったあの想いが今は変わってるということをちゃんと伝えてくのが私たちの糧でもあります。また、節目という意味では「仕切り直し」がとても大切です。私たちのアディクションは知らない間に、進行していきます。周りから見れば一目瞭然でも、いつも裸の王様。そんな自分を俯瞰するには、仕切り直すタイミングが必要です。



ダルクにきて、そして「もう大丈夫だ」と思って社会に戻っていく仲間たちがここで学ばなくてはならないことの一つに「ルールは所詮ただのボーダーライン」ということです。それは、ダルクにはそもそもルールというものはありません。ですが、共同生活の中で問題が生じるたびに、それを維持するためにルールが出来上がってきてしまいます。このルールというのがとても厄介です。ルールの範囲内ならば何をしてもいいという考えに人はなりがちです。ダルクから出ていけば、ルールはなくなる＝自由、ということを感じる人が多いです。それがデフォルトになると、薬って止まらないんですよ。私たちはダルクの中で良心を育てていきます。その良心はどんどん成長します。それが私たちの幸せな生き方を作っていきます。それがダルクで必ず学んでほしいことの一つです。



さて、テーマと違う新年の挨拶で、このまま違う話で終わるところでした。

12月11日に行われた神戸ダルク5周年記念フォーラムに、200名近くの方に参加していただき、本当にありがとうございました。本年は、コロナでリアル会場が使えなくなったとしても開催できるように、1年かけて映像作品を作ってきました。編集は最終週に4日ほど仲間と徹夜で仕上げたのですが、撮影を1年かけて行ったので根気のいる仕事でした。ですが、リアル開催ができて本当に良かったです。

僕の心の中は、3周年の時もそうでしたが「誰も来なかったらどうしよう」という不安に支配されて、怖くてたまりませんでした。久々の支援者の方々、遠方からの仲間、各ダルクの面々、久々に会った仲間や支援者の方々。フォーラムの最後には「2023年も絶対やろう」と思いました。というのも、私たちの病気の一つで「俺たちは必要とされているのだろうか？」という不安が依存症者には付きまといまいます。なかなか未熟な僕は、そんな気持ちが時折出ます。ですが、今回のフォーラムで皆さんの顔を見て、内から溢れる感謝を感じました。そんな確認作業がまだまだ必要です。

裏方で延々とタコスを作ってくれた仲間達、暴言が最高に素敵だった明石市長、映像を地味にコツコツと仕上げしてくれた仲間、珍しく褒めてくれた岩井の親父、お花を送ってくれた各施設の皆様、体験談でぶちかましてくれた仲間達、地域の方々、支援者の方々、そして長田区の方々、舞台裏で泣いてくれたPAさん、フォーラムの最後の最後に「今日出ていきます」と言ってくれた仲間(笑)。みんなみんな大好きですし、次のフォーラムもぜひきてください。

もし2023年にフォーラムを行うならば、実は「7周年記念フォーラム」なのですが本当は6年が過ぎていましたが、節目の5周年をコロナでできなかったため5周年フォーラムとさせていただきます。

実はフォーラムで撮った映像作品がかなりあって、それらを今年はYouTubeなどで配信していこうとも考えています。モザイク入れるのが面倒なのですが、「焚き火トーク」と題して、ダラダラと焚き火の火にあたりながら回復を語るものなど、また告知します。



今回のフォーラムを全面的に支援してくださった、ファイザー助成さんには2023年のファイザー助成も3年連続で活動できることになりました。余談ですが、茨城ダルクに繋がった時に初めて「新潟家族会フォーラム」につれて行ってもらって、その翌日に寂しくなってダルクから逃げ出したのは何を隠そう、この私です(笑)

恒例のおせち作り

スタッフ ユウ

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。さて、毎年恒例となっているダルクでのお節作りですが、今年はお正月の過ごし方含め、仲間の自主性に任せてみたら何も始まりませんでした笑。慌てて取り掛かったのが29日、大晦日の二日前だけあって、食材は更に値上がり、売り切れているものもいくつかあったりと、終始バタバタなプログラムになりました。

そんな中、仲間の成長を感じる嬉しい出来事がありました。お節作りのプログラムが終わり、帰り支度をしている私の所へ一人の仲間がやってきて「ゆうさん、ありがとうございました。」と頭を下げて、感謝を伝えてきたのです。一番率先してとりかかってくれていた仲間でした。とても驚きましたが、私も彼に「ありがとう」と素直に伝え、車に向かいました。しかし冷静な態度とは裏腹に、心の中では小躍りしていました。その仲間は神戸ダルクでの生活が長いのですが、「何もしたくないっすね。一生ダルクでいいっす」と繋がった当初のインテークでそう答えていたこと(しかも結構長い期間そう言い切っていた笑)を思い出すと、人はいつからでも変われるんだという奇跡を見せてもらったようで本当にうれしく思いました。

自主性を重んじて何も始まらなかったり、そうかと思えばそういった仲間の小さいようで大きな成長が見られたり。そんなことを通じて改めて感じたことは、良くも悪くも私たちスタッフ側の問題ではないのか、ということでした。良かれと思ってやっていたことが、本来仲間一人一人が持っている力を知らず知らずのうちに奪っていたのかも知れない。これは私自身が長年介護の現場で味わってきたジレンマと似通っている部分がありました。

体力的には厳しいのですが、全ておんぶにだっこの方をお世話している方が遥かに楽で、残存機能を活かしながらできないことをお手伝いするのは時間も精神も削られていきます。しかしそれを奪ってしまうと、ADL(日常生活動作)もQOL(生活の質)も低下していき、人として暮らす意味が見いだせなくなってしまいます。ダルクは一生いるところではなく、いずれは仲間それぞれが自立して地域で生活していく必要があります。そのための失敗も成功も経験する安全な場所だと思っています。そしてそのためのサポートをするのがスタッフの役割で、そのことが分かっていたはずなのにいつの間にか、その方が楽だから、待ってられない、失敗なくスムーズに終わらせたい、という合理的な考えだけで、考えることも、行動することも仲間から奪ってしまっていたのではないかと。これは頭で考えることではなく、感情や思考の移り変わりですから、そのために必要なサポートはたったひとつ、「寄り添い、共に生きる」ということだけです。今年は何年かたくさん仲間と過ごし、ミーティングで分かち合う時間を大切にしたいと改めて感じました。

最後になりましたが、仲間たちと過ごすあたたかい年末年始を支えて下さったNHK歳末助け合い助成様、支援者のみなさま、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

神戸ダルク6度目のお正月

スタッフ 下菊優(シモ)

皆様明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い致します。神戸ダルクも6度目のお正月を迎えることができました。僕自身は3年目から3回一緒にお正月を迎えさせてもらっています。

開設当初は小さい方の寮でお正月をし2年目には2個目の少し大き目の寮でお正月をしたと聞いています。3年目からは、グループホームの寮で広いリビングでみんな集まりお正月を迎えました。本年のお正月は新しいデイセンターで迎えることになりました。現在は、長田の町にデイセンターを移し近隣とも、挨拶はもちろん励ましの言葉を頂きながら仲間とともに回復の道を見守って頂いています。近年のコロナ禍な事もありますが、お正月もデイセンターに集まりいつもよりは縮小しながらではあるものの、おせち料理に始まり初詣、初湯等仲間とともに過ごしました。お節作りも今回はぎりぎりに仕込む形になりましたが慣れたもので想像以上にスムーズに遅れることなく仕込んでいました。そのおかげもあり元旦には初日の出登山にいつもより多くのメンバーが参加して初日の出を堪能していました。初詣もいつもは西宮神社へ行くのですが今年は近場で湊川神社へ向かいそれぞれお守りを買ったりおみくじをしたりと楽しんでいました。2日には毎年恒例



の有馬温泉へ初湯向かいました。今年は早めの時間に向かいゆっくりと初湯を楽しみました。3日目には初日の出に登った場所へ車で向かい近くの天上寺へ参拝に行きました。ここは本当に絶景がみれ、普段景色に興味がない人も景色に見惚れてる姿が見れます。このような三箇日を過ごさせてもらいました。これも皆様のあたたかいご支援の元過ごせてるものと思います。

私事としまして、去年は生まれたばかりで寝てばかりだった下の娘もヨチヨチ歩きまわることできるようになり、上の娘は4月には小学校に通う年齢になりました。お正月も仲間とともにワイワイガヤガヤと参加させてもらいました。素面での子育てで大変なこともあります。子供の成長の速さには本当に驚かされています。また来年も新しい仲間も加わった形でみんなでお正月を迎えられるように願いながら、過ごしていきたいと思っています。最後になりますがNHK 歳末助け合い助成様や支援者の方々の支えのもと過ごせていることに感謝とともに御礼申し上げます。今年一年皆様にとって良いお年になることを、心よりお祈りしております。ありがとうございました。



初日の出

繋がって1年2ヶ月になります。去年の初日の出も見たので、この施設に来て2回目の日の出となります。去年は日の出時間に間に合わないと思い、1人で登っていた様に思います。今年は登りながら、周りを見る余裕が出来、あれっ、こんなにしんどかったという感じでした。始めに摩耶ケーブルの駅も、コロナで自粛していたのが制限がなくなり、たくさんの方が訪れていました。去年と同じシチュエーションにもう一年も経つんだなと感慨深いものがありました。結果はというと、去年は日の出時間も過ぎ、天候の事もあってせっかく登ったけど日の出は見られないという諦め感が皆の中に漂っていましたが、待ち望む人達の思いが届いたのか、雲の切り目から美しい日の出を見る事が出来てハイヤーパワーに感謝したのを思い出します。親子連れの登山者がいて、息子と登っている父親が肩をゼーゼー言わしながら登っているのを見て親孝行せなあかんで！と声かけた事等が蘇ります。去年一緒に登った仲間であっていった人のことを想ったりもしました。今年はなんとなく登り日の出も見れましたが、自分にとっては去年の方が良かった気がします。スレッシュヨルドNo29参照。日の出を見る。全く同じ行動ですが、その時の状況下で感じ方もまったく違うんだなと思いました。自身の人生についてもそうで薬物を使う事により、どうしようもなくなりましたが、縁があって、この中間施設に繋がって、自分の生きる道を人生の光明を見せて頂いているように思います。問題なく平々凡々とした人生を生きているよりは、遥かに有意義な生活を送っているのも確信します。先日、歯医者であった出来事ですが、たくさんの方が治療を待つ中、後から来た初老の男性が「まだか、まだか、はよせい」と傍若無人な振る舞いをしているのに、一緒にいたメンバーが「みんな待ってんねん！ちょっと位待たれんのか！」と怒っていました。結局、自分はNA間に合わへんで、次回の予約をとるに留まりましたが…一つの側面にすぎないと思いますが、いい大人が社会でこんな対応してるのを見ると薬物やってた人の方が立派やないかと思う事もありました。蔵の財よりも身の財優れたり。身の財よりも心の財第一なり。最後になりましたが、やはり一緒にいた仲間が去っていくというのは寂しい事ですが、平穩無事に過ごしている事を願います。人生の起伏に惑う様な時も、あの日の出を思い出して、自身の胸中にそして生命に旭日を登らせて欲しいと思いました。ありがとうございました。今年の日の出はアカンみたいな言い方ですが、港川神社の参拝で2年連続ハイヤーパワースタート見せていただきました。

タカ



体験談

マサ

始めまして、マサと申します。75 歳です。昨年 11 月刑事施設より少し長目の仮釈放を貰い神戸ダルクに繋がりました。マサですが九州長崎県西部にて生まれてスグに養子の手続きをされて母の連れ子として新しい家族として幼年、若年、少年位まで暮らしていました。連れ子として他の家族達と共に育ちました。マサの幼年時代は戦後の食糧難の厳しい時代の中で余り口にする物も無く畑の側に実る果物やその他の持ち主の分からない物を食べたり他人の畑で遊んだりしながら日々を送る中そのことが実母養父、そしてその養父の子供達の耳に入り毎日の様に説教を受け、それが進んで行くと今度は叩く殴る蹴るの連日連夜、深夜 1 時 2 時頃まで長い時間正座の上での躰としての両親からの暴力、現代で言う虐待その物でした。養父は小学校の教師でプライドが高く頑固一徹での養父でした。マサはそんな養父や実母養父の子供達を憎み恨み続けながら何とか義務教育を卒業し家出同然で大阪、京都、名古屋、東京辺りを行ったり来たりして、小悪さが原因で少年院送りとなり、その後も刑事施設を何度も繰り返して今回の事件となってしまいました。親を恨みその他の人を憎み生きて来ました。歳を重ねる度に実母や養父達の恨みを少しずつ消えて行くようになりましたが時既に遅く気付いた時には自分自身が取り返しの出来ない年齢になっていました。その間は常に酒、アルコールが体を支配していて、つまり酒無しでは生きて行けないアルコール依存症と成り果てて生地獄その物でした。



現在の年齢に近くなった頃、長年飲酒続けたことにピリオドを打つ決心を致しました。完全断酒です。かなり遅くなった断酒です。もっと早く決断をしていれば今回の事件は回避出来ただろうと恨み後悔している所です。今回出獄するまで、このマサには様々なプレッシャーがありました。今まで酒が無ければ生きて行けないマサでした。しかし、今回見事に酒を断酒する強い思いを強い決断が見事に達成出来そうに思っています。今現在、近くにはコンビニ、販売機、酒屋さんが目に付き、更にコンビニ辺りには毎日朝、晩買い物に出掛けます。必ずアルコール類は一晩中販売されており、買う心が、気持ちがマサの中にあればスグにでも買い求め飲むことが出来る。しかし全くそんな気持ちとなく飲酒したい気持ち等一切有りません。今のマサがこの事をこの現状を貫き通すことが、これまで数多くの事件に繋がっていたこと、数多く人様に迷惑を掛けてきたことに対してお許しを願い、お詫びが出来ることになるのではと考え、そうなりたい、しなければならぬと決意も新たに頑張りと共に、これからの老後である人生最後の生き方希望を願いたいと思っています。この歳迄、半世紀以上に至って自己満足の中、酒だけがマサの友として行き過ぎてきました。これからはアルコール類を一切断ち老いた体ではあるけれど人間らしい人間、マサらしいこれからの生き方をし有意義ある毎日を生活とすると共に、育ててくれた両親「養父は既に他界」していますが、母は百歳の長寿です。この両親に感謝の心を含めて、お詫びをして許しを言って、これからは正業に務め世間の人達から感謝をされるような行動が出来るように、なれば幸いです。神戸ダルクヴィレッジに入居して、まだ 2 ヶ月足らずです。現在様々なプログラムの中でマサの生き方を決めることが何より大事である感じがしています。初心を大事に又、大切にしながら、これからを進み、歩み続けて行きたいと決心しています。有難うございました。



クリスマス会

ヒロ

僕は 2019 年 3 月から神戸ダルクに入居し現在は一人で暮らすようになりましたがダルクと繋がりながら自分の回復について日常を通じて学ばせて貰っている薬物依存症のヒロと言います。前回のニュースレターのお題は教会ボランティアで神様に繋がる過程など交え書きましたが今回はクリスマス会、僕にとってもどちらもスピリチュアルなもので魂の回復に繋がるプログラムです。

僕は子供の頃サンタがプレゼントを持って来てくれるのではなく父や母にプレゼントをねだっていたような記憶があります。

サンタさんの正体は父や母だと子供心に薄々知っていたように思います。そのほかケーキを食べたりご馳走を食べたりした記憶がありますがクリスマスの意味も知らなかったです。クリスマス会も幼稚園や学校などでしたのかもしれませんがそのような記憶がなくどちらかと言うと大人になってからの意識のほうがあるのようになって感じます。

そんな僕が不思議と聖書に繋がりを言葉に救われイエス様と繋がる。そう導かれて行く過程って不思議だしスピリチュアルなんですね。

神戸ダルクでは恒例行事のクリスマス会は色々な思いや考えがあるプログラムなんです。僕は主体を見失い理想ばかりを追い求め何をやってる事やら正直内心半分は気疲れしてしまいました。でもね、その時はそんな思いでしたが振り返ってみるとそんな思いの中のひとコマひとコマを掬い上げると僕なりに楽しめた部分があることを感じています。

横に人が居てる事、話す相手が居てる事、する事があると言う事、思い出が出来ると言う事、笑える事、楽しむ事、懐かしむ事、思い出と繋がる事、感覚が甦る事、あまり考えや思いが浮かばない感覚が鈍麻した僕ですが思い出や人との繋がりにひとコマひとコマに心寄せると感じるんですね。

心が荒んだら立ち止まって深呼吸をする。そうして気持ちの切り替えをして僕らしくありたいと思いました。神様どうかこのような僕ですが生き急ぎ過ぎる僕の歩みをあなたの思いで立ち止まらせて下さい。僕に落ち着きを与えて下さい。そして共に歩む隣人に意識を置く事が出来ますようにそして愛せますように。クリスマス会イエスキリストの誕生を祝いつつ今日1日全ての事に感謝して。



神戸ダルクの仲間たち 今年の抱負 2023

いつも隣にいてくれる仲間を大切にする。 よね二郎

家の墓守りのための準備、就職。そのために自分のプログラムに取り組む。 ブン

アルコール依存症なので、完全断酒貫きます。 マサ

昨年はプログラムに身が入らなかったのが本年はプログラムに対して真剣に取り組めます。 ケン

今まで出来なかった事をする。今年も頑張ります。 まあー

プログラムを通じて自分の行動を変えて新たな生き方をし、生き方が楽になる！ にっしん

母の納骨、社会復帰をする為、しっかりした計画を立て、その通りにいける様ベストを尽くす。 メー

B型の作業に取り組んで前向きに進んでいこう。 くりやん

この1年で社会復帰とすることにプログラムに取り組む。 かぎやん

困いを広げる。自分の思いを伝える事をする。 ヒロ

ゆっくりと落ち着いて立ち止まる。 タカ

つまづいたら深呼吸する タク

健康でありたい。規則正しく生活する。 タケ

周りの人へ助けを求め一人でしない。 シモ

家族や仲間と笑って過ごせるように自分の心の栄養を摂る。自分時間を大切にする。何か新しいこと始めたい！ ゆう

最後のルールは自分自身の良心 ウメ

活動報告

12月

播磨社会復帰促進センター小学館教育部来訪
文科省委託依存症予防教室事業「和歌山教室」参加
トラウマインフォームドケア学習会講義
賀川記念館出張コス販売
神戸市精神保健福祉センター当事者メッセージ
ファイザー助成 贈呈式
神戸ダルク5周年記念フォーラム
海釣りプログラム
兵庫県立鳴尾高校講演
そらにじ姫路メッセージ参加
神戸市精神保健福祉センター来訪
アフタメーションワークショップ
兵庫県立東灘高校講演
兵庫県立洲本高校定時制講演
賀川記念館打ち合わせ
クリスマス会
おせち作り
もちつき
TIC 会議

1月

初日の出摩耶山登山
初詣湊川神社
有馬温泉初湯
摩耶山天上寺参拝
カラオケ大会
手巻き寿司の会
震災の集いボランティア参加
依存症セミナー 愛着障害と依存症

定期開催

姫路家族教室 毎月第2土曜日
神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日
姫路無料家族相談 毎月第1火曜日
尼崎無料家族相談 毎月第1水曜日
垂水病院すまーぷ参加 毎週金曜日
保護観察所すまーぷ 毎月第4金曜日
ヨガプログラム 毎月1回



近況報告・活動予定

新年より、神戸ダルクの内側のブラッシュアップをひとつずつ行っていく予定で動き始めています。ダルクというのは水の流れるように、月日に合わせて色々と変わっていきます。その移り変わりの中で、やはり大きなことは、このコロナ禍の3年で、いろいろなものが変わってしまっていることだと思います。社会も思い出せば大きく変わり、ダルクのプログラムも大きく変えざるを得なかったと思います。そのようなことから、ブラッシュアップではまずスタッフの意識から変えていこうと、定例会や内部研修会、また TIC の勉強会も充実させて挑戦していこうと考えています。忘れ去られたイベントなども、みんなで取り戻して、本来のダルクらしさを作っていこうと思っています。

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」 年間購読のお願い

この広報誌「スレッシュヨルド」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便物の取得ができました。年間購読費は年6回発行で2000円になります。お申し込みはFAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。

兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。
個人会員は1口 3000円（ニューズレター定期購読料を含む）からになります。刑務所内の方々と文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談 相談の内容に関する秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘留所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは24時間 OK。 kobe.darc@gmail.com

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献金

稲美町社会福祉協議会 大野 千春様 間 明子様 岡野 久子様 横田 尤孝様 青山 暁様 神戸市健康福祉局保健課 長谷川 泰宏様 カトリック鈴蘭台教会様 明石キリストの教会様 北村央 恵様 幸地クリニック 幸地 芳朗様 菅原 美穂様 神戸市福祉局政策課様 畠山 茂祥様 千葉菜の花家族会 富井 建夫様 (他匿名希望 1 名)

ご献品

林谷 みどり様 NPO法人ヨガ療法士会様 播磨社会復帰促進センター様 山崎 圭様 森のすず社会福祉事務所 森保 純子様

(令和 4 年 11 月 16 日～令和 4 年 12 月 31 日到着分・順不同 ※購読料・支援会員費の方を含む)

寄付や献品のお願い

引き続き、非常に苦しい状況の中、お米などのご支援ありがとうございます。現在、神戸ダルクでは、30%の食材が、ご寄付によって成り立っています。お米が底をつく、お金がないことよりもなぜか不安になるものですが、幸いにも皆様のお米の寄付で、困ることなくお腹いっぱいご飯を食べることができています。ありがとうございます。また、ご家庭で余っている食料品(米、野菜、乾物、味噌、醤油など)から洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。たくさんありましたら、車で取りに行くこともできます。今非常に助かるのは、食材や日用品です。薬物をやめていると、ストレスや刺激が足らず、どうしても食事が進んでいきます。食欲が満たされていると薬物の欲求は一時的にもおさまります。心苦しいですが、ご協力をよろしく願いいたします。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

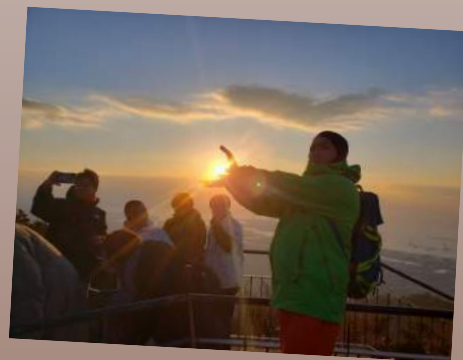
口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ



編集後記

ついでないだ初詣に行ったと思えば、またお正月です。時の経つのは早いものです。でも振り返るといろいろなことがありました。薬を使っている時はボケているのか、浦島太郎のように歳をとりましたが、薬が止まってからは、樹木が成長するように変化をしていきます。来年の年明けにも同じことを思っておりでしょう。仲間が変わっていく姿は何者にも変え難いです。今年もいろんなことをみんなとやれるといいですね。

神戸ダルク ニューズレター Threshold (出発点) Vol.36
編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田靖規
印刷 プリントバック
〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18
TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741
e-mail kobe.darc@gmail.com
www.kobedarc.org
価格 1部 100円 年会費 3000円
(購読料は年会費に入ります)
発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4階